



株式会社タイミー 「スポットワーカーに関するアンケート」結果

調査対象	全国のスポットワーカー
調査方法	インターネット
有効回答数	618人
調査時期	2024年7月26日～7月27日

日本経済新聞社の定義によれば、スポットワーカーとは、「企業や店舗などで短期間かつ単発の仕事を受け負う労働者」のこと。

仲介業者などで構成するスポットワーク協会によると、スポットワークサービスの登録会員数は、2024年9月1日時点で2500万人にまで増えているという。今回は、スポットワーカー仲介業大手のタイミーが実施した調査から、スポットワーカーの働き方や意識についてみてみたい。

自分の都合のよい時間に働きたいから …… 58.7%

「スポットワークという働き方を活用している理由」で最も多かったのは「自分の都合のよい時間に働きたいから」で58.7%、次いで「家計の補助・学費等を得たいから」20.7%だった。「正規の職員・従業員の仕事がないから」は4.2%となっている。

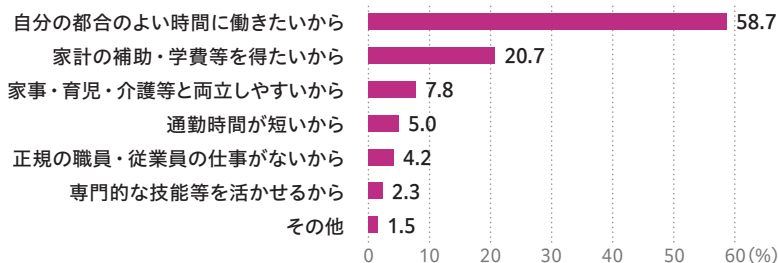
また、スポットワーカーの現在の職業（本職）では、「正社員」が最も多く54.0%、次いで、「パート・アルバイト」11.8%、「学生」7.9%の順となっている。「スポットワークのみ」と回答した人は0.6%にとどまった。

人手不足の労働環境にマッチ

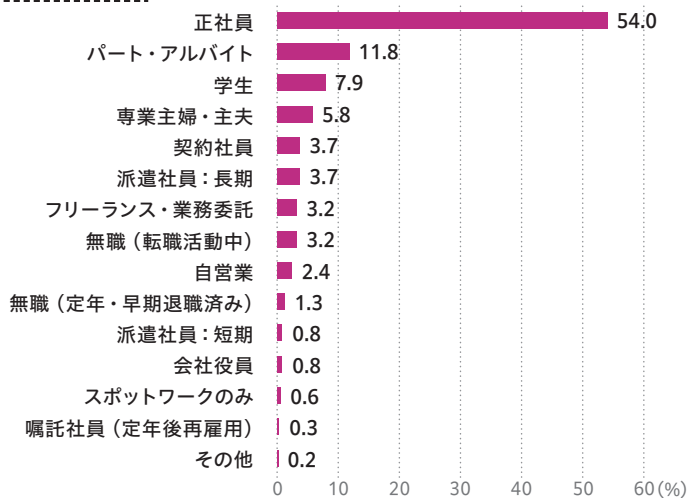
調査結果からわかるのは、スポットワークという働き方を能動的に活用している人が多いというこ

スポットワーカーの本職は「正社員」 54.0%

スポットワークという働き方を活用している理由 【単数回答】



現在の職業（本職）



と。9割超えが、本職を持ちつつスポットワークに従事している。

雇う側にとっても、必要なタイミングで必要な分だけ人手を確保できるという点でメリットがあり、昨今の人手不足という労働環境とも相まって、スポットワークの存在感は増している。

スポットワークは、主にスマホアプリを介して雇用関係が成立する。タップすれば働く時間も場所も選択できる手軽さは、スマホ時代ならではの新しい働き方を象徴しているのかもしれない。

（インテリジェンスバリューコーポレーション株式会社 岩村克俊）